

— 2 章 —

あなたの知りたい事への回答書

人類の永遠のテーマ

真実の扉の開き方

はじめての宇宙の真理の読み方

(すべてが真実の内容です

行く先々で示す奇跡が証明します)

2012年7月23日更新

我存在アル、支配者グレゴリー

私は、この書に、

宇宙の真理とは、なに？

はじめて聞いたという人、

宗教や、哲学で聞いた事があるが
何の事か分からない、知らない人、

これから、勉強したいという人、

むきに、分かりやすく、宇宙に正しく

古の太古よりそれを創り、世界に与え
導いて来た、我存在アルとしての立場

から、解説していきたいと思っています

す。はじめての人向けではありますが
嘘の多い人間の常識とは違い本当の真
実を伝え、導くものとなりましょう。

では、早速、講義を始めましょう。講
義は、あなたの身近なところから始め
ましょう。

10. まず、復習から

まず、一章目の復習をしましょうか？

身近なコップの問題から、
破片を机の上において、破片を机から
落とすと、それが床の上でくっつくか

質問→これは、有り得るか？

回答→有り得ること。

真実の扉を開くために何が必要？

回答→宇宙を、世界を何かの
目的で創造したものが
存在するという事を信じる

科学は万能か？

回答→真実を、一部の方向から
狭い範囲で見ているので
万能と思っはいけない
科学者は謙虚さが必要

放射能は何か？

回答→物質そのもの
人間の能力を超えるもの

1 1. 人間界とは何か、 マトリックス

人間界をなぜ造ったのかは？

これは、様々な場所で唱えているように、霊界の会議の席で、人間界という世界を造ってそこにいくことで、苦しみを通じて、今より大きな喜びとしたいということで、大変な仕掛けを造り創造したのだ。今の人類には想像すらできないほどの複雑な・高度な仕掛けを造った、そして、その世界を指導するものたちを造ったのだ。後世、人間は神々と呼んだものたちだ。

希望があれば、そのものたちに合わせてやろう！！ 触らせてやろう！！

見せてやろう！！ なら、信じるか決して信じないだろう。人間の非常識という常識があるからだ。お化けと呼ぶだろう。それが今の人類の実力だ。

マトリックスそれは、虚構。見せ掛け
ということ。なにをどのように見せ掛
けるのか？ 解る？ 人間たちよ。

この物質界が本当に、リアルに、現実
感を持って存在し、その中に人間やも
ろもろの生き物たちが生きて暮らして
いると勘違いさせるのだ。どうだ、人
間たちよ。見事に、リアル世界と思っ
ているだろうか？ リアルだろうか？
そのために、複雑な・高度な技術を
使っているからな。

数学的にこの技術は管理されている。
虚軸では精神界を表現し、実軸で物質
界に反映させるのだ。虚軸と実軸の交
換周期は、十のマイナス40乗分の一
だよ。非常に高速度だ。アルの想念の
速度は十のマイナス80乗分の一、こ
ちらも非常に高速度だ。この速度だか
らこそ、精神界と物質界との交換原理
である、応転原理が使えるのだ。

ある物質Aが虚軸の範囲にあるときに

精神界に想念を発動し、ある物質Aが実軸に移る前にまず精神界でそれを變形させ、物質界に物質Aが移った後にその物質を消滅させたり、生成させたり、變形させることができるのだ。アルが創造させた究極の奥義だ。天地創造主しか使えない法的な力だ。これを使うマントラを発動し、悪しきものを消滅させたり、天使を生み出したり、属性を變形させ、別の物質や、性質に変えることもできるのだ。

だからこそ、すべての時空間や、宇宙や銀河において、種種の対策ができ、すべての時空間や、宇宙や銀河に響くのだ。すべてのものたちが、主を畏れる・崇める理由のひとつとなっているのだ。少し話が難し過ぎたかな？

まあ、複雑な・高度な技術をダークマター（アルの子、遺伝子で言う肝細胞に類似）に仕込み、マトリックスを実現している。なんのために？　これが

重要な話である。人間に、不自由さを与え、あるときは絶望を、あるときは希望を与え、脱力感や満足感を与え、実体のある世界・霊界では実現できない独特の世界を造っているのだ。

なんのために？

先に言った、みなさんが普段いる世界は霊界とって、ほぼなんでも実現できる世界なのだ。不自由さはない。

だからみなさんは、強い喜びを得たいがために人間界にときどき降りてきては、その目的を忘れ、苦しい苦しいとっては、神を困らせる。

どうぞ、忘れないでください。

苦しむために、この人間界に来たことを、また、愛を発露し（人間の言う、肉体の愛では決してない、愛とは＝相手を思いやるころ、相手の痛みを分かるころ、相手の気持ちになって考えるころのことだ。）と。。。

そういう導きに従える人間を、神は好きで助けることを。ましてや、主に於いては、なにをか言わんや。（当然のことで、そういう神々の頂点に立ち、教え、導いている立場にいて、その性格が神々に移るのだよ。）

さて、[マトリックスをした宇宙人の告白はこちら（ま行を探して）から聴いてください。](#)

マトリックス概要

主である、最初から在るもの、あって在るもの=我存在アルは、人類に希望を与えるためにアルファ星のアメジスヌル星人を連れて来てマトリックス処置を行った。

各自が描く世界とは？

各自が見る世界はなぜ、異なっていたのか？

メイトリックス（マトリックス MATRIX）は実際に存在するアルファ星雲のアメジスヌル星と呼ぶ星の宇宙人 300万人が対応した。

前期は、人類2000億体全員に MATRIXの処置をした。

中期は、人類3000万人全員に MATRIXの処置をした。

だが、2名には、その処置はできなかった。それは、人間に降りた主、アル=私と、ダーの二人（神）だった。

さて、では、なぜ、人類の見る世界が

違うのでしょうか？

それは、主がいろいろなタイプの人類の誕生を願ったからです。

そのために、誕生した人類一人一人には、アルファ星雲のアメジスヌル星人一人一人がつき、それぞれの世界を描けるようにしたのです。

描く、見える世界は、あの映画マトリックス（マトリックス、MATRIX）と同じです。人間だけの力では、この世界では何一つ実現できません。本当ですよ。逆立ち一つとしてもね。神が来て、足を持っています。習字の上手な人は、筆を手に持った瞬間に、神が筆を持っています。そして、神が書いています。習字を書いているのは、あなたではなく、神なんです。同様に、本来は、霊能者などは、いません。しかし、あたかも実際に存在するか如

く、見せるのです。TVのオ泉などで、言っていることは、現実ではありません。虚構・メトリックスの世界なのです。だから、人間如きのスピリチュアル・カウンセラが居れば、その個人個人で見る世界で違い、やり方も個別・独自なのです。すべて、本当の世界ではありません。星人が見せています。

超能力者も、しかり、

だから、見えているものも、実際に存在しているものも異なっていたのです。

宗教の教祖も同じです。手をかざし治療を行う、おひかりさんと呼ぶ宗教も、そこから分家した宗教もすべて同じです。我々がそのように見せただけです。

○川○法（幸福の○）の描く世界も、丹波○の描いたものもすべて同じです。メトリックスです。

生まれるときに、この人間には何を見せるのか？をあらかじめ決定していて、そのために万全の準備をし、一生を通して、インフォメーションや、インスピレーションを与えるようにしたのです。なぜか？それが我々が与えた彼ら星人の役割だからです。

これが中期までの計画であって、今は来期に向けての準備をしています。来期とは、ベクトルの異なっていたインフォメーションを統一することです。

どこにあわせるのか？

主、である絶対神の中の絶対神の描く世界にあわせるのです。なぜか？

そのためにこそ、長い年月をかけて準備したからです。1713億年まえから準備したのです。

すべてが救済のためなのです。
来たるべき人類の無秩序、非常識、無
分別、地球の破壊活動＝核研究、遺伝
子研究、宇宙開発が行われることを予
知し、神々を事前に日本に降ろし、救
済のための準備をしていたのだから。

マトリックスを証明した

私は、数年前に、このマトリックスの
真実をお弟子さん達に示したことがあ
る。それは．．．．．

名古屋に木下サーカスが来て見に行っ
た時のことだ。サーカスの動物たちか
らは、野生の動物たちから、阻害され
ている。「お前たち（サーカスの動物
たち）は、動物ではない。が人間でも
ない。我々の仲間（野生の動物たち）
ではないと。」「神様、この問題を解
決してください」という、サーカスの

動物たちからの依頼を受けての、サーカスの見学（サーカスの動物たちの救済対策）だ。我々神という存在は、遊ぶという感覚はない。必ず行動や思いには、宇宙に生まれたものたちへの救済対策／消滅対策／改善対策行為がある。必ず行動や思いには、救済すべきものたちへの救済の意味があるのだ。それが、人間たちとの大きな差だ。それが、真実だ。なぜならば、救済すべきものたちへの救済こそが、神の仕事であり、願いであるからだ。神々の唯一の存在理由だ。だからこそ、君たち守られるものが、神を認めず・感謝もせず・お礼の言葉を言わずとも、君たちを守り続けるのだよ。霊界での我存在アルとの面談で、君たちを守ることを希望する、故に、我存在アルは、絶対神の中の絶対神として、72個＋アルジャーンの双子星の世界2個を越えた世界の創造主として、その配下の神々を存在させ・神々の希望とさせているのだ。

サーカスでの綱渡り

さて、
このサーカスでの綱渡りのことだ。傘を手に持ち、上方へ向かって一本綱の上を歩きすすんでゆくだけの至って単純な技を披露しようとしていた。その技の後に、複雑な・高度な技が続くと見た。

すぐに弟子たちに私は言った、「いまから、可哀そうだが、マトリックスをあなたたち（弟子たち）に証明するために、彼らが綱渡りができないようにします」とね。私は、そこにいて綱渡りのマトリックスを実現させている（つまり、綱渡りが人間にできていると錯覚させるための仕事をしている）神々に、こう伝えた。

「今から、私が、もうやめてよい、と伝えるまで何もするな。」とね。

ステージ上で何が起こったのか？
期待通りになったのか？

だんだんだんだんだんだんだんだん、と音楽が鳴り出し、綱の上に上がり、傘をバランスをとるために手に持ち、誰もが次のシーンを思い浮かべた瞬間のことだった。次のシーンとは、颯爽と格好よくポーズをとり、綱を上っていく姿だ。よくサーカスで見かけるシーンだった。

ところが、綱に上がった瞬間、観客たちは、ところが凍りついた。忘れもしない。観客の全員のこころの動きを。

何が一体サーカスに起こったのか？

さっそうと綱に上った瞬間、そこから一歩も歩き出さない、否、歩き出せない団員が目の前にあった。どころか、左右にぐらぐると揺れ、一生懸命バランスをとろうとする姿が見え、十秒足らずで、綱から落ちてしまった。観客

は一体何が起こったのか？ポカンとしたが、よくある、出だしのミスでありもう一回すれば、綱を進んで行けるだろうと思っていたことだろう。しかし

次の瞬間、綱にもう一度上がった3秒で綱からまた、落ちた。もう一度、綱に上がった。今度は、ゆらゆらして、六秒程度でまた、落ちた。手に持った傘を使ったバランス調整など、まったくといっていいほど、無駄であった。

挑戦が四回目ともなれば、さすがに、場内アナウンスで、みなさま「もう一度挑戦させてもいいでしょうか？」と伝え、再挑戦！ それから、再挑戦が5回続いたが、十秒も綱の上に立つことさえできず。もちろん、一歩たりとも動けず。ついに、場内アナウンスで「本日は少し調子が悪いようで、中止させていただきます。申し訳ございません。」と綱渡りの興行は中止となった。

麒麟さんたちの見せ場が増えた。

観客全員と、私の隣にいた弟子たちは分かっていたこととはいえ、こころが凍りついてしまった。あまりの、恐ろしさにだ。現実の目の前で起こっていることが、恐ろしいのだ。あまりのリアルさに、私の対策に、恐怖を覚えたことだろう。「これが、現実です」と弟子たちに伝え、解説したのです。

「このマトリックス処置では、あの人間が傘でバランスをとり、巧みにゆらゆらする綱の上を、簡単に上方に上っていく、それができると見せかけているのです、が、すべて神々が支えて実現させているのです。だから、神々に《それをするな》と処置をさせねば、途端にできなくなるのです。人間などが、たった一人でできるものなど、宇宙に、なに一つありません。」

歌が歌える、野球が上手、習字が得意勉強ができる。すべてが、マトリックス処置です。目の前でなくても、遠隔

処置で証明したときもありました。

対策で箱根に滞在したときのことだ。
T V番組で、霊能者という肩書をもつ
ものが、この筋ではめずらしく、ライ
ブで放送するという番組があった。メ
インは、電話やF A Xやメールなどで
視聴者からの要望をライブで聴き、そ
れを次々となしていき、と大々的に
宣伝していた。大きな態度だ。私の嫌
いな大柄な態度だ。己は一流である
というふれこみと、天下をとったような
T V番組の意気込みだった。

さて、T V番組の放映の時刻となった
私は、弟子たちに、「これから、私は
霊能力と人間が呼んでいる一切の力を
彼から取ります。このT V番組が成り
立たないようにしますから、見ていな
さい。」と伝え。マトリックスを実行
している神々に、その王命を伝えた。

番組は始まった。が、少し様子が変わ

解説とビデオを始まりから流し、ライブが始まらない。私はその理由を知っていましたが、弟子たちは、事の様子が予想に反して変だと気づき始めた。

そして、ライブが始まった。MCは、本日は、皆様からの電話やFAX、メールなどで送られる質問や要望に対してお答えする番組ではありましたが、急遽番組の内容を変更させていただき事前に収録しておりましたビデオ録画を放映させていただきます」と開口一番に伝え、ライブは中止となった。

弟子たちはポカンとしていた。つまりライブが中止となった理由はこうだ。霊能者と自負していたものは、自分の周りにきたマトリックスを実現している神々を、自分の能力で動く霊と勘違いして思っていたのだ。彼としてみれば、霊から事を聞き、それを伝える。そして自分はなんでも分かるのだと勘

違いしたのだ。これが驕りだった。実際はまったくのでたらめが伝えられる。

客と向き合う時、悩みや問題を聞く、否、まわりにいる霊（勘違いですよ）に聞かせている。つぎに霊（彼の、勘違いですよ）から回答を聞きだし、自分の能力のように回答する。これを行っていたのだよ。そこで、私が、マトリックスをするなど伝えたので、霊能者と勘違いしている馬鹿者は、霊と突然会話ができなくなったのだ。ライブ番組が始まる直前にである。番組のスタッフと勘違い男の焦りが見えるようだろう！！ 神としての懲らしめの意味を含めての弟子たちへの解説となったというのが、種明かした。

そのような複雑なマトリックスの仕掛けを通じ、人間を育てている。それが主としての私の務めなのだよ。

宇宙の真理学研究所